

## 令和4年度第4回東広島市入札監視委員会会議概要

### 1 会議名

令和4年度第4回入札監視委員会

### 2 開催日時・場所

令和5年2月24日（金） 15:30～16:50

東広島市役所本館4階 入札室

### 3 出席委員

岩元委員、石垣委員、富田委員、神野委員、高島委員

### 4 出席職員

建設部道路建設課長、都市部次長兼営繕課長、都市部次長兼都市整備課長、建設部河川港湾課長、事務局員

### 5 会議の概要

#### (1) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

次の事項について、事務局から説明を行った。

ア 入札方式別発注工事の状況

イ 指名除外措置の運用状況

#### (2) 検証対象工事の検証について

次の検証対象工事について、入札参加資格要件、工事概要等を事務局及び施工担当課から説明を行った。

ア 令和4年度 橋梁長期保全事業 橋梁補修工事（田川橋ほか）

イ 令和4年度 小学校施設整備事業 東西条小学校長寿命化改良及び増築工事（建築）

ウ 令和4年度 道路維持修繕事業 道路舗装工事（西条地区）その3

エ 令和4年度 交通結節点改善事業 西高屋駅前交差点信号機移設工事

オ 令和4年度 治水対策事業 杉坂上川河川整備工事その3

#### (3) その他

ア 次回の検証対象工事の抽出委員について

抽出委員は配布した名簿の順とし、次回の抽出は神野委員が行うことで決定した。

イ 次回委員会の開催について

令和5年度第1回委員会の開催は令和5年5月頃の予定とし、後日調整を行うことで決定した。

6 発言の内容

(1) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

発言者	内容
委員	条件付一般競争入札の発注工事のうち、「入野・河内地区連絡管布設工事」と「原（安出河）地区配水管布設替工事」は、連絡管と配水管の違いはありますが、前者では1者のみが入札に参加し、一方、後者では5者が入札に参加しました。類似する管の工事で、入札者数が異なるのはなぜですか。
事務局	前者は総合評価落札方式のため、価格だけでなく、業者および配置予定技術者の施工実績など業者の技術力等が評価されます。入札者数が1者だったのは、会社の施工実績や配置技術者など、加点の条件を満たせない業者が入札しなかったためと考えます。一方、後者は総合評価落札方式でなく、価格だけで落札者が決まる一般競争入札のため、5者が入札があったものと考えます。

(2) 検証対象工事の検証について

ア 令和4年度 橋梁長期保全事業 橋梁補修工事（田川橋ほか）

発言者	内容
委員	この工事は、入札した3者とも最低制限価格に近い低い価格で入札され、落札率が非常に低くなっていますが、これはなぜですか。
事務局	この工事は積算基準が標準的で、橋の形状が単純なため積算が容易です。また、橋梁補修の工事は、全般的に施工方法の共通点が多く、コスト削減も容易です。積算しやすく、現場の管理も難しくないため、競争原理が働き、落札率が低くなったと考えます。

イ 令和4年度 小学校施設整備事業 東西条小学校長寿命化改良及び増築工事（建築）

発言者	内容
委員	この工事は、条件付一般競争入札で発注された中でも、予定価格がかなり高額ですがなぜですか。
事務局	学校施設は、本市の公共施設の中で大きい施設です。この工事は、一般的な工法で施工するものですが、施工規模が大きいため高額となりました。
委員	この工事は、入札参加者が1者だけでしたが、入札参加者が少なかったのはなぜですか。
事務局	本年度に本市が発注した工事が比較的多かったこと、また、施設の規模が大きく、一定の技術力とスタッフを兼ね備える必要があるため、市内には、入札が可能な業者が少なかったものと思われる。

ウ 令和4年度 道路維持修繕事業 道路舗装工事（西条地区）その3

発言者	内容
委員	イの検証対象工事は入札参加者が1者で、この工事は16者と対照的です。この工事の入札参加者が多かったのはなぜですか。
事務局	この工事は、表面のアスファルトを削り取り、新しい材料で再度舗装し、区画線のラインを引くものであり、工事内容が単純なためと思われます。

エ 令和4年度 交通結節点改善事業 西高屋駅前交差点信号機移設工事

発言者	内容
	特になし

オ 令和4年度 治水対策事業 杉坂上川河川整備工事その3

発言者	内容
委員	この工事は、30者近くに見積りを依頼して、1者しか有効な見積書が提出されませんでした。これは予想どおりでしたか。
事務局	この工事は、過去に3度、一般競争入札で発注して入札不調となりましたが、これは技術者不足などで入札する業者がいなかったためです。このことから、入札参加者が少ないことは予測していました。
委員	人手不足や事業者不足、また、単純な工事は人気があるが、複雑な工事は人気がないという状況の中、入札という仕組みが成り立たなくなることが懸念されます。これらのことをどこかに報告して意見を共有し、建設的な動きに発展させられませんか。
事務局	担い手不足の解消、持続可能な建設産業の育成は、全国的な課題です。 新規参入者を増やすためには、賃金上昇も必要ですが、今年の労務単価の改定では、全国平均で5.2%増となりました。一方、働き方改革も重要で、週休2日のモデル工事を、本市でも令和5年度から試行します。 建設産業や業者の育成については、産業界だけではなく、市や県も国に対して様々な場面で要望することで、働き方改革などに取り組んで参ります。